

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)比恵町計画 新築工事	階数	地上14F
建設地	福岡市博多区比恵町193番1	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	220 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2024年8月15日
敷地面積	1,177 m ²	作成者	渡邊 浩之
建築面積	621 m ²	確認日	2024年8月16日
延床面積	7,272 m ²	確認者	一色 美昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.3 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境効率 L	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 92 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.3
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.6	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
省エネルギーや耐久性を考慮して、地球温暖化、ヒートアイランド現象の緩和に努めています。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
住戸開口部は複層ガラスを使用し、建物外周面には断熱材を施しました。	耐用年数の長い材料や、節水機器を使用し、建物の長寿命化、水資源の保護に努めています。	アプローチ廻りや屋上に植栽を設け建物の配置や形態を考慮しました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
設備システムの効率化に配慮するとともに、各住戸採光と通風を確保するように配慮しました。	節水機器などの利用により、節水を図っています。	省エネ設備を採用するなど、CO ₂ の抑制を図りました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される